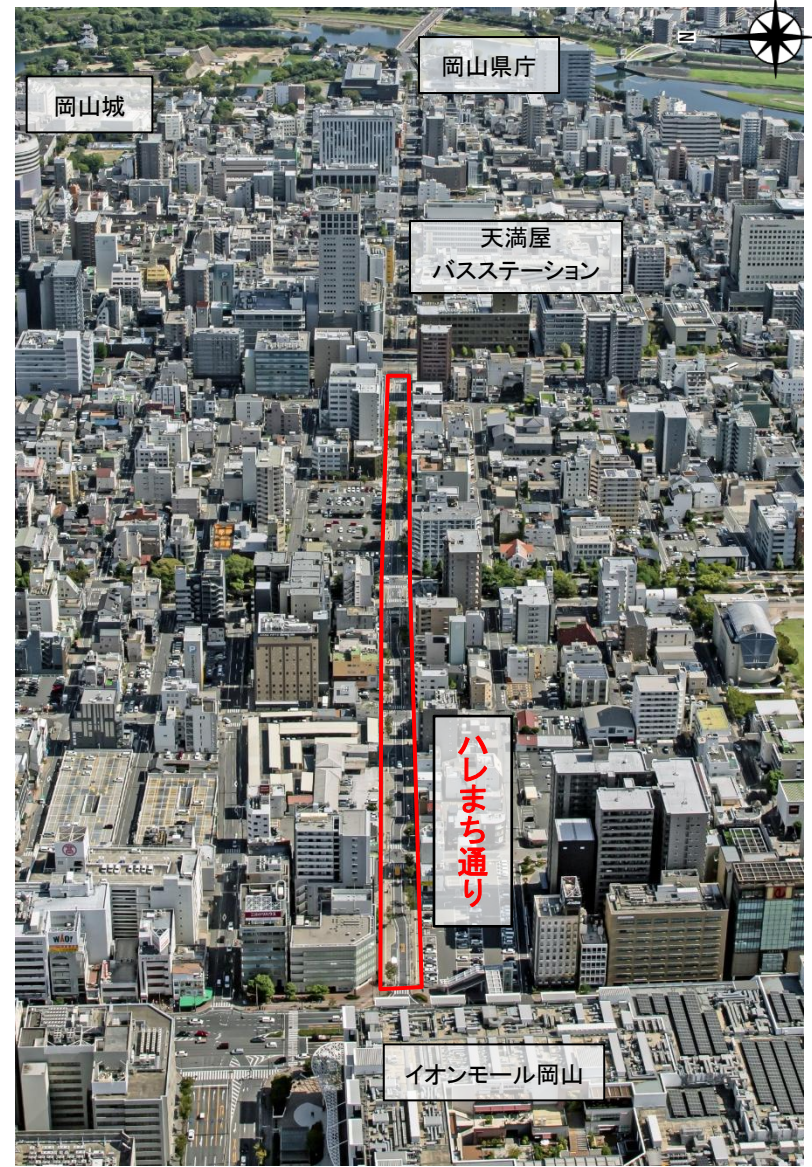
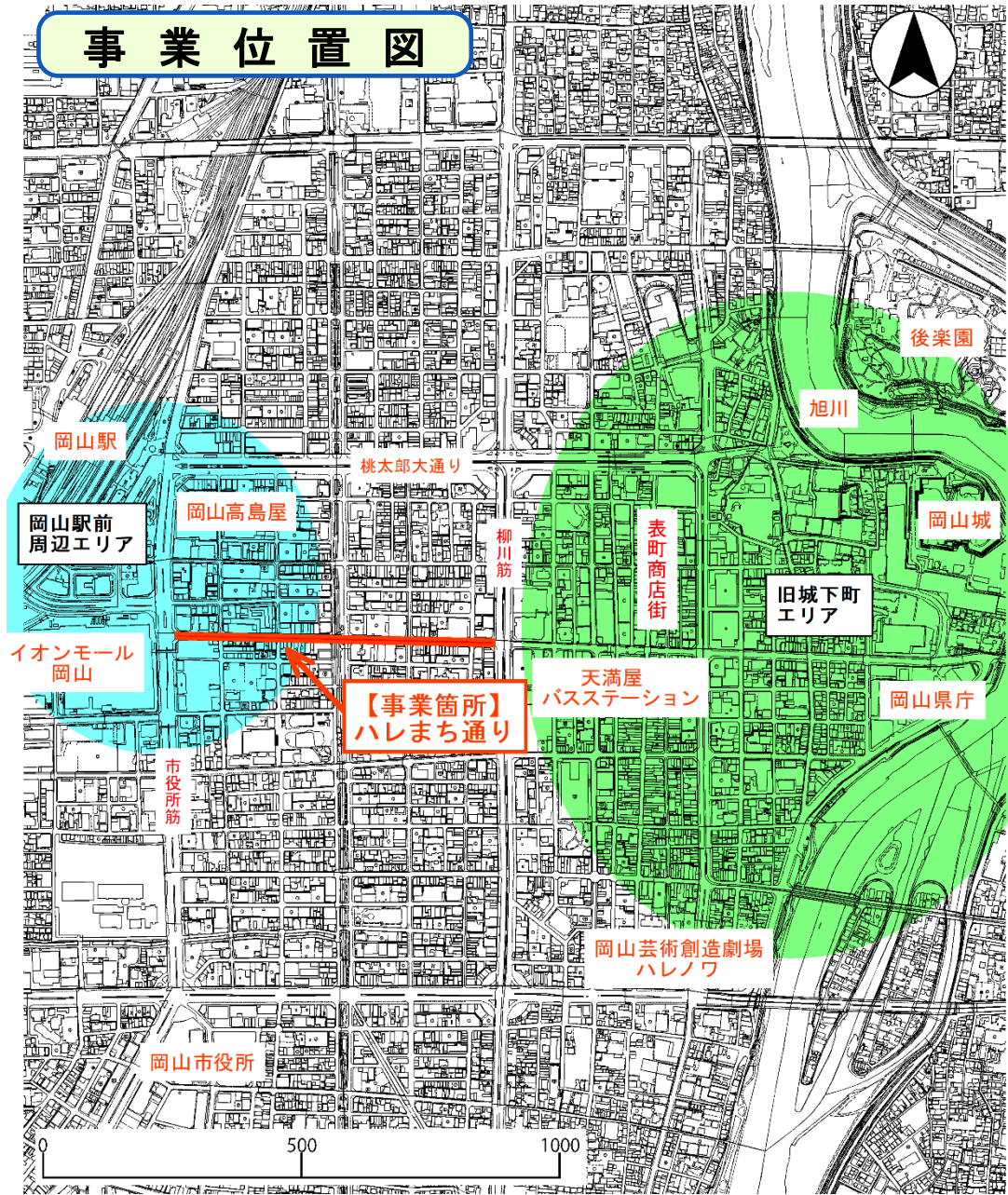


事業概要

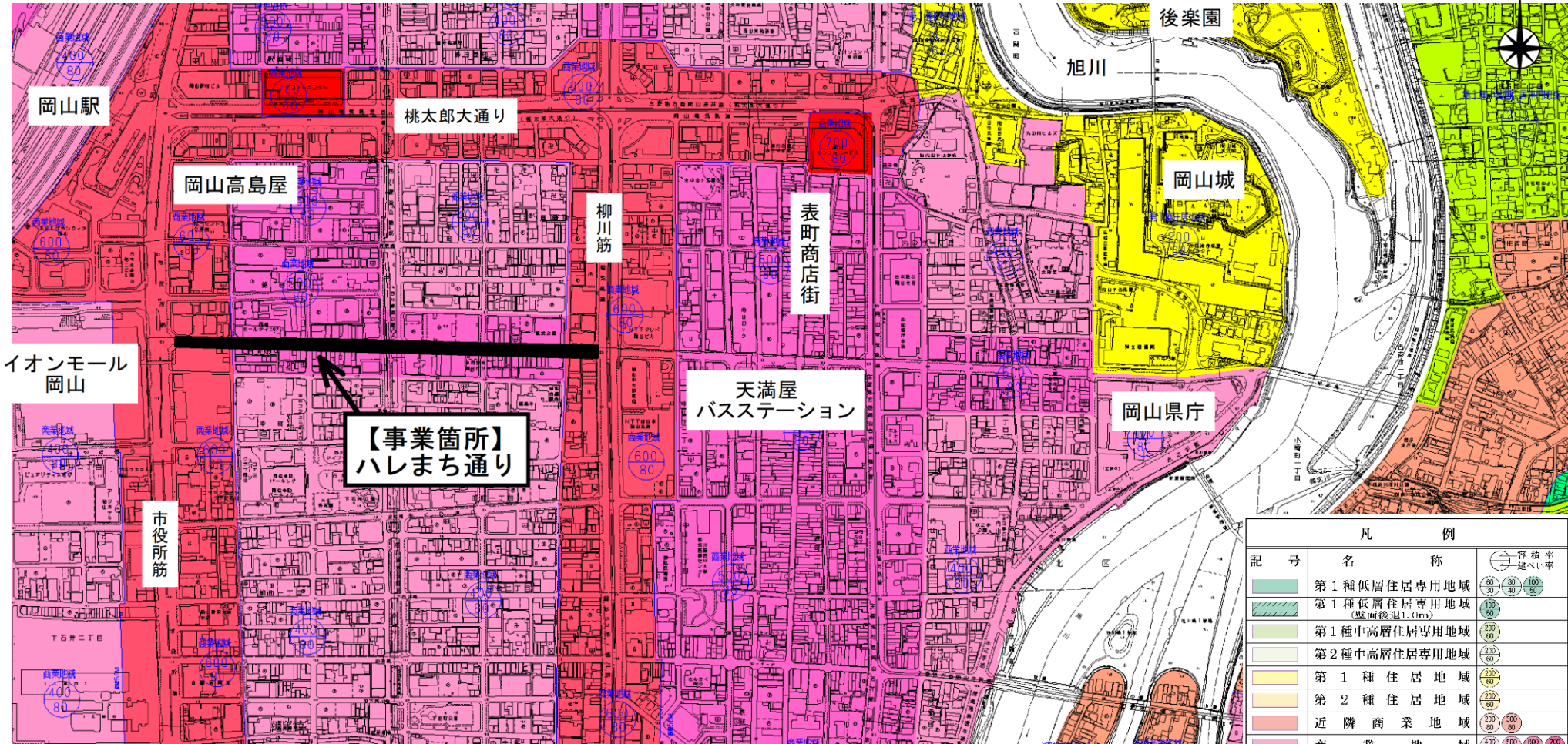
応募No.	14		
事業主体	岡山市	事業箇所	岡山県岡山市北区錦町ほか
応募者名	岡山市 都市整備局 都市・交通部 庭園都市推進課		
ふりがな 事業名称	はれまちどおり(しどうにしきまちふるぎょうちょうせん)さいせいびじぎょう ハレまち通り(市道錦町古京町線)再整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を目的として、岡山市中心部の2つの賑わい拠点「岡山駅前周辺エリア」と「旧城下町エリア」を結ぶ「県庁通り」について、車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくりを目指し、令和元年度から令和3年度にかけて道路空間の再構築等を実施した。</p> <p>具体的には、東行き一方通行2車線の1車線化や歩道の拡幅、街路樹や街路灯・サイン類の更新等を行うとともに、歩道空間の一部を沿道事業者がオープンカフェ等に活用できる仕組みを官民連携で構築したものである。</p> <p>本事業による整備効果は、①歩行者通行量の増加、②沿道への活発な新規出店、③歩道空間の利活用による日常的な賑わいの創出などが挙げられる。また、再整備を契機に、令和4年度には通りの愛称を公募によって「ハレまち通り」に変更し、“晴れの国 岡山”にふさわしいネーミングとして市民に親しまれている。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.6km	
	幅員(m)	15m	
	事業期間(和暦)	令和元年度～令和3年度	
	事業費(億円)	約10億円	
受賞歴	有・ <input type="radio"/> 無		
URL	https://www.city.okayama.jp/shisei/0000007329.html		

事業位置図



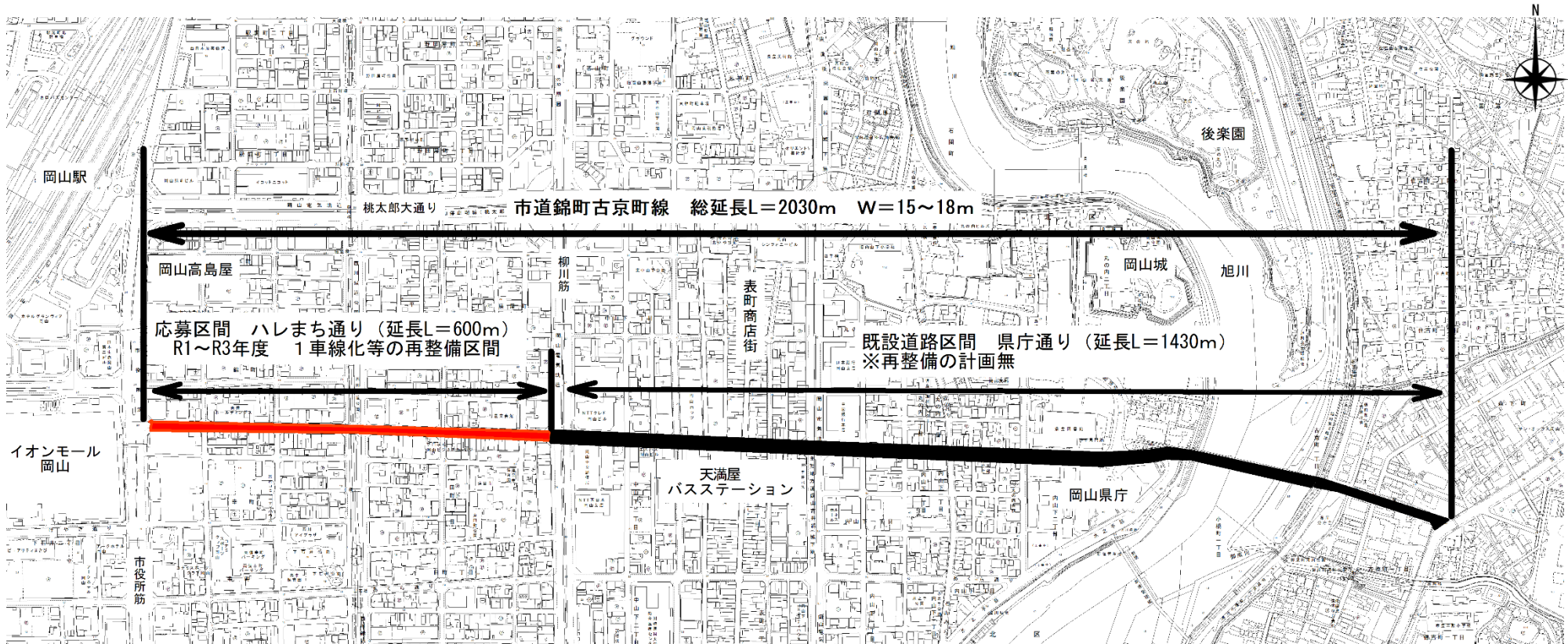
ハレまち通り全景(東方向を望む)

都市計画図(用途地域図)



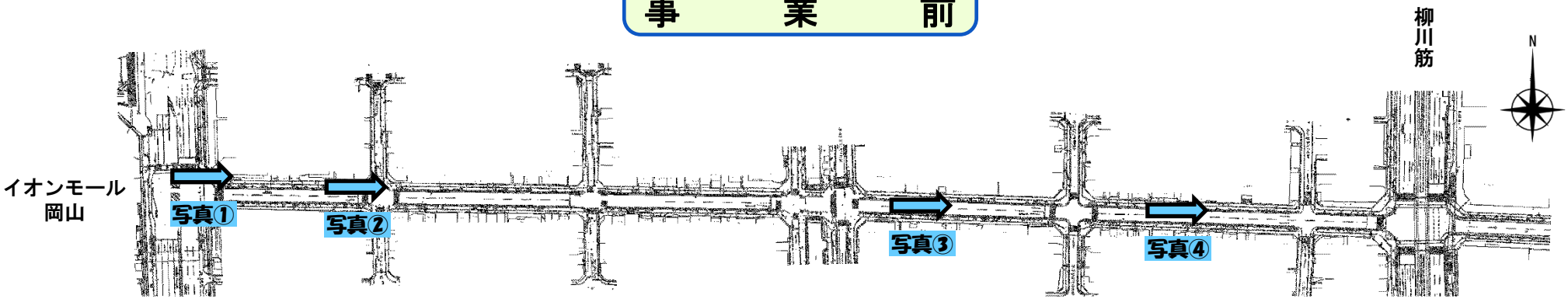
凡 例		
記 号	名 称	容積率 建ぺい率
[Green Box]	第1種低層住居専用地域	容積率 50% 建ぺい率 50%
[Green Box with Diagonal Lines]	第1種低層住居専用地域 (壁面後退1.0m)	容積率 50% 建ぺい率 50%
[Light Green Box]	第1種中高層住居専用地域	容積率 70% 建ぺい率 60%
[Light Green Box]	第2種中高層住居専用地域	容積率 200% 建ぺい率 60%
[Yellow Box]	第1種住居地域	容積率 200% 建ぺい率 60%
[Yellow Box]	第2種住居地域	容積率 200% 建ぺい率 60%
[Orange Box]	近隣商業地域	容積率 200% 30% 建ぺい率 30%
[Pink Box]	商業地域	容積率 500% 30% 200% 30% 建ぺい率 30%
[Light Purple Box]	準工業地域	容積率 200% 建ぺい率 60%
[Light Blue Box]	工業地域	容積率 200% 建ぺい率 60%
[Dark Blue Box]	工業専用地域	容積率 200% 建ぺい率 60%

路線全体の進捗状況

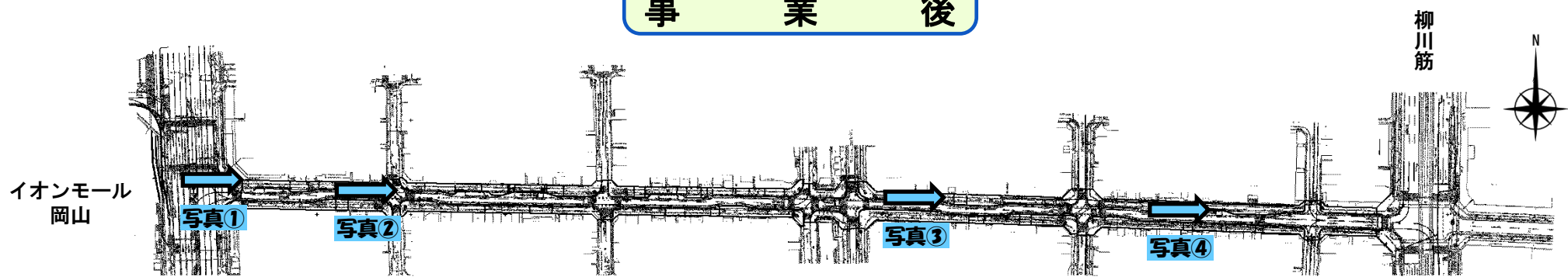


平面図

事業前



事業後



事業前写真



事業後写真



事業前写真



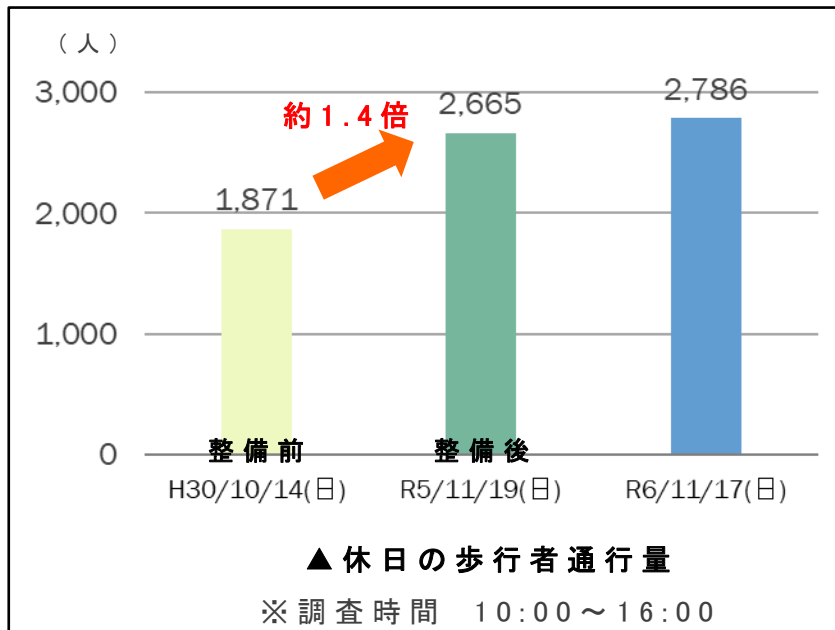
事業後写真



事業効果アピール資料①

・ハレまち通り再整備後の令和5年の歩行者通行量(10:00~16:00)は、再整備前である平成30年と比較すると、休日は約1.4倍に増加し、その後も継続して高い水準を維持しており、まちの活性化に繋がった。

・ハレまち通りの再整備についてアンケートを実施(令和4年度に実施)したところ、通行者の約8割が再整備に肯定的な回答であり、市民等に「車中心から人優先の歩いて楽しいまちづくり」の取組への理解が進んだ。

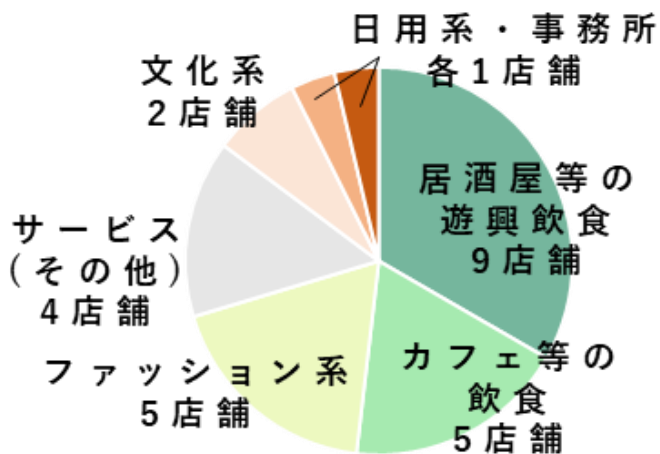


沿道の民有地と街路が一体となった空間を形成することで、歩行者の滞在を促し賑わいを見せる様子

事業効果アピール資料②

・ハレまち通りの再整備前後の沿道1階の土地利用の変化を調査したところ、再整備前と比較して27店舗(全体の3割)の新規出店(店舗の入れ替わり含む)があったほか、3棟の建物更新(マンション及びテナントビル)があるなど、民間投資が促進された。

・歩道空間の活用は、都市再生特別措置法に基づく道路占用許可の特例制度を使っており、活用可能な箇所は誰からも視認しやすいよう、デザインの異なるインターロッキングブロックを用いて整備した。



▲ 新規出店27店舗の分類内訳

※ 整備前後で比較



新規出店した店舗による歩道空間を活用したオープンカフェ



歩道空間の活用可能な箇所をヘリンボーン柄のインターロッキングブロックで整備

事業効果アピール資料③

- ・再整備事業を進めるなかで、沿道事業者らによるまちづくり組織「ハレマ協議会」が設立された。この協議会と行政が連携して歩道の活用方法を検討し、沿道事業者が歩道空間の一部をオープンカフェ等に活用できる仕組みを構築した。これにより、歩行者が沿道店舗で購入したものをテラス席やベンチで飲食するといった風景が日常的に見られるようになった。
- ・ハレマ協議会が中心となってマルシェ等を継続的に開催するようになり、これらの活動が街路や沿道建築物等の空間形成と一体となることで、岡山の豊かな暮らしを表すまちの新たな魅力となっている。



沿道のフレッシュジュース店で購入した商品を店先のベンチで飲食する風景



地元の美味しい食材や料理等を提供する店舗が一同に集まり、沿道の民有空間と街路を一体的に活用してイベントを実施

苦労や工夫等アピール資料①

- ・歩いて楽しいまちづくりを目指して事業を始めたなかで、ウォーカブル推進事業が全国的にスタートしたことを受け、岡山市もウォーカブル推進都市の一員となり取組を進めた。
- ・取組当初は、車線の減少による交通渋滞を懸念する声等が多かったため、社会実験の実施、ワークショップ等を通じた機運の醸成、パース等を用いてイメージを共有するなどし、**事業実施に向けた合意形成を図ることに注力した。**
- ・地域の住民や事業者、関係機関との調整に苦労したが、**関係者と丁寧に協議し、社会実験等を重ねることで、関係者の不安が解消し、官民が協力して取組を進めていくことができた。**

ハレまち通り再整備事業の経緯

実施年度	取組内容
平成27年	回遊性向上社会実験(計3回)
平成28年	回遊性向上社会実験(計1回)
平成29年	まちづくりセミナー・ワークショップ(計5回)
平成30年	デザインミーティング・意見交換会(計7回)
令和元年	まちづくりセミナー・ワークショップ(計3回) 1期工事(西工区)着手
令和2年	沿道組織(ハレマ協議会)の立ち上げ 道路空間活用の仕組み・ルール構築
令和3年	2期工事(東工区)着手 令和3年度末竣工



1車線化に向けた社会実験の様子



歩道活用のルール構築に向けた社会実験の様子



沿道の駐車場で開催したデザインミーティングの様子



地域の声を反映して作成したパース図

苦労や工夫等アピール資料②

- ・再整備に当たっては、セミナーやワークショップ等を通じた意見を基に、道路空間のデザイン方針を定め、通り全体の統一感を創出するために、舗装や照明柱、ベンチ、ボード等はグレーを基調として色や配置を考慮した。また、温かみのある光色の照明やアップライトの設置、樹形が美しく季節感があるアヤケヤキの植樹など、魅力的な公共空間を創出した。
- ・照明灯具の形状には、歩道幅員が広い場所では歩行者の滞在性を高めるため光が広がりやすい「筒形」を、歩道幅員が狭い場所では光の広がりが限定的な「笠形」を用いた。
- ・ベンチは植樹による木陰ができる場所に設置し、また滞在性を高めるためにテーブル機能を備えつつ、洗練されたデザイン性の高いものとして、ベルギー製の製品を選んだ。



グレーを基調とした道路空間のデザインと樹形が美しいアヤケヤキの植樹



歩行者の滞在を促す歩道のベンチ



連続照明やアップライトによる夜間景観

報道資料

報道日	報道機関等	内容
平成27年10月11日	山陽新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞	1車線化に向けた交通規制の社会実験の実施
平成29年4月15日	山陽新聞、読売新聞、産経新聞	事業化に向けたイメージ図の公表
平成30年2月18日	山陽新聞	事業化に向けたまちづくりセミナーの実施
令和元年9月29日	山陽新聞	1車線化に向けた歩道活用の社会実験の実施
令和2年1月11日	山陽新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞	再整備事業の着工
令和3年4月13日	山陽新聞	第1期工事(西工区)の完成
令和4年4月1日	山陽新聞	再整備事業の全区間の完成
令和4年10月12日	山陽新聞、日本経済新聞、KSB瀬戸内海放送	道路愛称が「ハレまち通り」に決定
令和5年8月1日	マチジカン 空想と現実をめぐる街メディア ※「こんな、まちの機能、あったらいいな」を妄想し、実験して、実装するプレイヤーのアイデアを共有するウェブメディア	「歩いて楽しいまちづくり」として、ハレまち通り再整備事業を紹介 https://machi-jikan.jp/400/
令和6年4月13日	山陽新聞、OHK岡山放送、RSK山陽放送 等	ハレまち通り再整備の事業効果

報道資料

- 新聞掲載：令和2年1月11日（土）
山陽新聞「県庁通り 憩いの空間へ」
- 新聞掲載：令和6年4月13日（土）
山陽新聞「ハレまち通り1車線化で空間拡幅」